

# くすりのしおり

外用剤

2024年12月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

**製品名：レボカバステチン塩酸塩点眼液 0.025%「わかもと」**

**主成分：**レボカバステチン塩酸塩 (Levocabastine hydrochloride)

**剤形：**振り混ぜるとき白濁、水性懸濁性の点眼剤、5mL、(キャップ) 白色

**シート記載など：**



## この薬の作用と効果について

ヒスタミン<sub>H1</sub>受容体拮抗作用により、かゆみや充血などのアレルギー症状を抑えます。

通常、アレルギー性結膜炎の治療に用いられます。

## 次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。コンタクトレンズを使用している
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

## 用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・通常、1回1～2滴を1日4回（朝、昼、夕方および就寝前）点眼します。必ず指示された点眼方法に従ってください。
- ・容器の先端が直接目に触れないようにしてください。
- ・この薬は懸濁液のため、使用の際にはその都度容器をよく振ってください。
- ・点眼後はまばたきをしないで、しばらく（1～5分間）まぶたを閉じ、涙嚢部（目頭のやや鼻より）を指先で軽く押さえます。
- ・点眼した時に液がまぶたなどについた場合は、すぐにふき取ってください。
- ・他の目薬と併用するときは、5分以上の間隔をあけて点眼してください。
- ・点眼し忘れた場合は、気がついた時にできるだけ早く点眼してください。ただし、次に点眼する時間が近い場合は点眼しないで、次回より指示通りに点眼してください。2回分を一度に点眼してはいけません。
- ・誤って多く点眼した場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、点眼するのを止めないでください。

## 生活上の注意

- ・含水性ソフトコンタクトレンズ着用時の点眼は避けてください。

## この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、眼の刺激感、眼瞼炎（まぶたの炎症）、眼脂（目やに）、眼の乾燥感、まぶしい、眼のかゆみ、頭痛、眠気などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[ ]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・呼吸困難、顔のむくみ [ショック、アナフィラキシー]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

## 保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・この薬は、保管の仕方によっては振り混ぜても粒子が分散しにくくなる場合があるので、上向きに保管してください。
- ・開封後1ヵ月が経過し、薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄方法がわからない場合は受け取った薬局や医療機関に相談してください。他の人に渡さないでください。

## 医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。